

令和3年度 小平市立小平第二小学校 学校評価計画表

学校教育目標 日本国憲法、教育基本法の精神及び人間尊重の精神を基盤に、そして小平市教育振興基本計画の理念を基本に、国際社会に貢献できる日本人、郷土を愛する市民であるという自覚を育てる。同時に、小学校教育を生涯学習の一環と捉え、学習の基礎・基本の定着を図り、互いが認め合う心と体の健康づくりのための教育を推進する。
 考える子 やりぬく子 思いやりのある子

目指す学校像(ビジョン)
【目指す学校像】 「学校・地域・家庭が互いに育て合い、子ども一人一人が輝く楽しい学校」
【目指す児童・生徒像】 1. 自分の考えをもち、判断し、行動できる子 2. 元気でたくましく、最後まで頑張る子 3. 相手の立場や気持ちを考え、共に生きる豊かな心をもつ子
【目指す教員像】 1. 全体の奉仕者として自己の使命を自覚する 2. 専門職、教育のプロとして研究と修養に努める 3. 組織的な対応を意識して職務に励む 4. 健康保持や自己の働き方に留意する

前年度までの学校経営上の成果と課題
 ・成果:コロナ感染防止に努めた教育環境の整備やICT機器を活用し、教育活動を推進することができた。コミュニティスクール準備委員会を重ね、令和3年度よりコミュニティスクール設置校に承認を頂いた。
 ・課題:コロナの制限のある教科指導、履修すべき学習内容や体験等をコロナ感染状況に合わせて学習過程を工夫し確実に行う。若手教員の指導力・授業力の向上。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標
学習指導	基礎的・基本的な学力の定着を図る。	・補習学習や家庭学習の定着を図る。 ・児童の学力の実態を全教員が共有する。	・朝学習や金曜日の補習タイム、家庭学習を活用する。	4 全学年・学級で実施100%	4 教員への内部評価で 肯定的回答が100%
			・東京ベーシック・ドリルの診断シート等で国語や算数の児童の実態を把握し、教員が授業改善に取り組む。	3 全学年・学級で実施80%～99%	3 教員への内部評価で 肯定的回答が80%～99%
	・感染症拡大防止対応下で、主体的・対話的に深く学ぼうとする態度を育成する。	・GIGAスクール構想に基づき、ICT機器を最大限活用する。(タブレット端末・デジタル教科書等)	2 全学年・学級で実施70%～79%	2 教員への内部評価で 肯定的回答が70%～79%	
		・ミニホワイトボード(全児童所有)を積極的に活用する。	1 全学年・学級で実施70%未満	1 教員への内部評価で 肯定的回答が70%未満	
安全教育	危険を予測し回避する能力や、他の人の安全に貢献できる能力の定着を図る。	・情報モラル教育を推進する。	・「SNS東京ノート」等を活用する。	4 全学年・学級で実施100%	4 保護者への学校教育アンケートで 肯定的回答が80%以上
			・「二小SNSルール」の取組を、保護者会やホームページ等を活用し、地域や保護者の理解につなげる。	3 全学年・学級で実施80%～99%	3 保護者への学校教育アンケートで 肯定的回答が60%～79%
	・地震等の災害から自分や他の人の生命を守る方法を身に付ける。	・「防災ノート」を計画的に活用する。	2 全学年・学級で実施70%～79%	2 保護者への学校教育アンケートで 肯定的回答が50%～59%	
		・「安全教育プログラム」を活用して、一声(ひとこえ)指導を実践する。	1 全学年・学級で実施70%未満	1 保護者への学校教育アンケートで 肯定的回答が50%未満	
いじめ防止	思いやりのある児童の育成を目指す。	・道徳の授業や特別活動の取組を通して、「自分を大切にすること」「相手を大切にすること」を高め、心と体のバランスのとれた児童を育成する。	・全教職員が「二小危機対応管理マニュアル」を十分理解し、意識向上を目指す。	4 全学年・学級で実施100%	4 教員への内部評価で 肯定的回答が100%
			・道徳の授業や特別活動の取組を通して、他者理解や自己肯定感を高める場面を設定し、考えさせる。	3 全学年・学級で実施80%～99%	3 教員への内部評価で 肯定的回答が80%～99%
	・いじめゼロの学校をつくる。	・「二小いじめ防止基本方針」に則り、未然防止、早期発見に全教職員が努める。	2 全学年・学級で実施70%～79%	2 児童へのアンケートで 肯定的回答が70%～79%	
		・いじめ対策会議を月1回及び対応が必要な事案が発生した際は即時開催	1 全学年・学級で実施70%未満	1 児童へのアンケートで 肯定的回答が70%未満	
特色ある学校づくり	地域や関係機関と連携した教育活動の充実を図る。	・組織に特別支援部を設置することで、通常の学級・若草学級・くすのき学級・きこえことばの教室の連携を図り特別支援教育の推進を強化する。	・月2回の校内委員会を開催し、(特別支援教室担当教員も出席)医療機関等関係機関との連携や、SC・巡回指導員との情報共有を実現させる。	4 全学年・学級で実施100%	4 教員への内部評価で 肯定的回答が100%
			・初年度のコミュニティ・スクールの取組を推進する。	3 全学年・学級で実施80%～99%	3 教員への内部評価で 肯定的回答が80%～99%
	・コミュニティ・スクールの組織的且つ計画的に進める。 ・4月～翌年3月までに年間12回の学校経営協議会を開催する。	・2 全学年・学級で実施70%～79%	2 教員への内部評価で 肯定的回答が70%～79%		
		・1 全学年・学級で実施70%未満	1 教員への内部評価で 肯定的回答が70%未満		
業務改善の働き方	意識改革・時間管理・校務改善・体制整備の方向性で取り組む。	・勤務時間の管理を徹底する。	・三密を避けながら、会議は代表者のみ参加し、校内掲示板や職員室メールを活用する。	4 教員への内部評価で 肯定的回答が100%	4 教員の80%以上が達成
			・適当に在籍時間は最大60時間とする。	3 教員への内部評価で 肯定的回答が80%～99%	3 教員の70%～79%が達成
	・校務改善について、組織の取組により意識改革を図り、個々の具体的な取組をつなげる。	・組織の取組は、目標値を掲げるなど明確化する。	2 教員への内部評価で 肯定的回答が70%～79%	2 教員の60%～69%が達成	
		・自己申告書に示した取組を各自が実践する。	1 教員への内部評価で 肯定的回答が70%未満	1 教員の60%未満が達成	